

別紙 1 1. 『障がい者対応の閲覧画面 仕様書』

I. 概要仕様

視覚障がい者や高齢者が使いやすい専用ユニバーサルブラウザを提供すること。

閲覧項目は、蔵書検索（大人用、こども用）、お知らせ一覧の使いやすい内容とし、以下の機能要件を有すること。

II. 機能要件

1. 読み上げスキップ、ジャンプ、ボリューム変更機能

2. 画面表示サイズ変更機能（ブラウザ部分）

3. 画面読み上げ機能

専用の読み上げパネルを表示し、画面を読み上げること。

（1）再生／一時停止機能

画面内の文字を読み上げること。一時停止できること。

（2）スキップ機能

1区切りずつ読み上げること。読み上げている最中に押すと、現在読み上げている個所を飛ばして、次を読み上げること。

（3）ジャンプ機能

現在読み上げている個所から5区切り先へジャンプして読み上げること。

（4）読み上げ位置指定

触れたい項目を読み上げできること。

（5）ボリューム調整

画面を読み上げる音声の音量を調整できること。

（6）上下左右矢印キー

表示サイズを大きくしている時や画面をスクロールする必要がある場合に押した矢印の方向へ画面を移動することができること。

4. リンク先を簡単表示機能

5. 画面ハイコントラスト表示機能

（1）「弱視の方向け」ボタンを押すと弱視モードに切り替わること。

（2）「一般の方向け」ボタンを押すと通常モードに切り替わること。

6. 画面部分拡大（虫眼鏡）機能

（1）弱視モード時に画面中央にある拡大窓を操作して表示させきること。

（2）拡大窓のサイズを変更できること。

7. 文字盤（ソフトウェアキーボード）自動表示機能

（1）スピーカ機能として、キーボードパネル上にテキスト入力した文字を読み上げること。

（2）ソフトウェアキーボード機能

ひらがな、英数字、英数字の大文字と小文字の切り替えボタン、空白、一文字消去全部消去、決定、閉じるボタンがあること。

8. 特定ドメインのみ表示、特定アドレスのホワイトリスト、ブラックリスト登録機能

9. アプリケーション監視、自動復帰機能

10. 操作部を画面手前に配置し、背の低い方や腕を高く上がられない方でも操作しやすいこと。

11. 大きな操作ボタン配置し、手の不自由な方でも操作しやすいこと。

12. 操作パネルやボタンを色弱の方に配慮した配色にすること。

13. 各ボタンは平易な言葉で表現し、ふりがなやアイコンを付加すること。

14. 各画面にオンラインヘルプを用意すること。